

お問い合わせは

堺市中区豊かなこころづくり応援事業について

■中区役所自治推進課

堺市中区深井沢町2470-7

TEL：072-270-8154

FAX：072-270-8101



中保健センターの事業について

■中保健センター

堺市中区深井沢町2470-7

TEL：072-270-8100

FAX：072-270-8104

絵本の読み聞かせなどについて

■中図書館

堺市中区深井清水町1426(ソフィア・堺内)

TEL：072-270-8140

FAX：072-270-8149



中図書館

■東百舌鳥分館

堺市中区土塔町2363-23

TEL：072-234-9600

FAX：072-235-8010



東百舌鳥分館

本はともだち



堺っ子読書活動

発行：堺市立中図書館



中区豊かなこころづくり応援事業

なぜ赤ちゃんに絵本を読むの？

絵本は、赤ちゃんとふれあうための道具です。絵本を読んでもらっている時の心地よい声、リズム、動きなどを通して、赤ちゃんは安心して甘えられる人とのきずなを結ぶことができます。

読み方に決まった方法やルールがあるの？

やさしい声でゆっくり読んであげれば、特に決まった方法やルールはありません。見て楽しんだり、絵本に書かれた文字以外で語りかけたり、いろんな方法で赤ちゃん楽しい時間をお過ごしください。

具体的にはどうすればいいの？

抱っこしたり膝に乗せたり、添い寝をしながらなど、毎日の暮らしの中で自由に読んであげてください。

いつ読んであげたらいいの？

赤ちゃんのきげんが良ければ、いつでもかまいません。赤ちゃんと一緒に時間を楽しもうという気持ちで読んであげることが大切です。

赤ちゃんが途中で嫌がったらどうすれば？

きげんの悪い時や、途中で嫌がった時は、無理に読まないでください。ただ読めばいい、読まなくてはならないなどではなく、赤ちゃんと一緒に絵本を楽しむことが大切です。

どれだけよんであげればいいの？

赤ちゃんがもっと読んでほしそうだったら、出来るだけ読んであげてください。また、同じ絵本ばかりではなく、ときどき違う絵本を読んであげてください。赤ちゃんが絵本の中に自分の知っているものを発見したり、ものの名前を知ったりという楽しみを重ねていくことは、成長につながります。

どんな絵本を選べばいいの？

赤ちゃんにも、絵本の内容の好みがあります。堺市立図書館では、小冊子『いっしょにたのしもう～0歳からの絵本～』を作成しています。そちらを参考にしながら、赤ちゃんのお気に入りを探してあげてください。小冊子は、図書館ホームページ“ブックリスト”のページからご覧いただけます。

おすすめブックリスト→



中図書館・東百舌鳥分館では「赤ちゃんえほんのじかん」で赤ちゃん絵本の読み聞かせをしています。この他にも、わらべうたあそびの中で赤ちゃん絵本を紹介する催しもあります。

赤ちゃんの成長に合わせて、親子で絵本の世界を楽しんでください。

赤ちゃんに、図書館の貸出カードをつくらせよう。

0歳からつくることができます。図書館カウンターに、名前と住所が確認できるものをお持ちください。

